

「災害大国日本における 有事に備えた地下シェルターに求められる
性能・仕様の在り方検討ワーキンググループ」 第1回目の会議

主催：一般社団法人レジリエンスジャパン推進協議会

一般財団法人災害支援財団 岩城理事長：学識委員としてワーキンググループに参加

自衛隊の現役時代、退職後の東日本大震災後の復興支援等の経験を踏まえて、
ワーキンググループに参加し、防衛と防災の両面から、皆さんの安心安全に貢献したい。

(財)災害支援財団としての重視事項

有事の対象：自然災害(地震、津波、洪水等) 人為災害(テロ、各種攻撃、火災等)

- ① 有事における国民保護法に基づく国民の生命財産を護るための避難誘導等の措置
- ② 災害発生時における減災、人命救助、避難、復興等における自衛隊との連携
- ③ シェルター内における生活環境、治安の維持等の各種課題の解決
- ④ 上記の項目を考慮して、必要な地下シェルターの性能、仕様のあり方を検討

第1回目のワーキンググループの内容は、以下のとおり

https://www.j-shelter.com/shelter_wg/

事務局 NPO法人核シェルター協会
のプレスリリース

第1回目の地下シェルター ワーキンググループ会議

岩城理事長

